

小倉擬百人一首



名をきく浪宅不波小月もさしと遊をたて
雨にあり軒場の藤を見附さ社句恨八船妻
を模様しつて丑の古邪をわい夏ハ三傘を
紋所なくの豊蔵多を如を雲の雷電
靡く其何遊早の候語るア
柳下亭種員筆記



不波伴左門

傳之虫



九十六





xrite ColorChecker® Color Rendition Chart